



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ

●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/望月 啓行 ●副会長/平尾 清 ●幹事/藤田 博久 ●副幹事/番匠 俊行

2022-2023

3月26日



第3656回例会

移動例会

●開会点鐘●

ガバナー補佐 杉浦英昭君 (駿河RC)



●開会の言葉●

IM実行委員長 坂本泰俊君



●国家独唱●

佐藤美奈子さん



●歓迎の言葉●

ホストクラブ (駿河RC) 会長 朝原一治君
皆様を歓迎します。地域との連携を図りましょ
う。

●来賓紹介●

ガバナー補佐 杉浦英昭君

●ロータリーソング●

ソングリーダー 花村隆夫君



●参加クラブ紹介●

司会 佐野博美君 高橋美和君

●ガバナー補佐挨拶●

ガバナー補佐 杉浦英昭君

今回のインターシティミーティングは「変わり

ゆくロータリー 変わらないロータリー」をテーマとしました。本日は中村靖治様に、この題名で講演をいただきます。このご講演を今後の道しるべにできると嬉しく思います。本日は楽しい時間をお過ごしください。

● 来賓祝辞 ガバナー挨拶 ●

ガバナー 浅原諒蔵君 (静岡RC)



IMの定義は、グループ単位で全員の相互親睦と知識を広げる場です。今回のテーマを聞いて、去年の地区大会のテーマ「～IMAGINE NEXT 不易流行～」を思い出しました。ロータリーも時代とともに変化すべきです。しかし、本質である変化しない価値観もあるということだと思います。話は変わりますが、私がガバナーになり、会員増強に努めてきました。現在、増員できております。6月まで維持をして次年度に引き継ぎたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

● 来賓祝辞 ガバナーエレクト挨拶 ●

ガバナーエレクト

中村皇積君 (浜松ハーモニーRC)



一生で人は3万人に出会うといわれています。世界の人口からすると27万分の1の人と出会うということです。宝くじのスクラッチの1等の確立が25万分の1ですから、人の出会いは、宝くじよりも尊いということです。本日は、中村靖治さんに講演をいただきます。私は、「与えられた環境の中でいかに成長する機会を得られるか」ということを中村さんに教わりました。本日が実りある日

になることを望みます。

● 来賓挨拶 市長挨拶 ●

静岡市長 田辺信宏さん



お礼を一言申し上げたい。私はロータリークラブに育ててもらいました。ロータリーのおかげで市長になれたと思っています。私は、●●年前ロータリーの国際親善奨学生として●年間イギリスのブライトンで学ばせてもらいました。静岡と清水の合併に尽力しましたが、私がいなければ合併はできなかったと自負しています。市長になり、静岡を国際都市にするために、歴史的な建造物としての駿府城、地元で愛されるプロスポーツの誘致など活動してきました。これらは、すべて、ロータリーの国際親善奨学生の経験がなければできなかったと思っています。クラーク博士の言葉は全文だと、Boys be ambitious like this old man. です。私もold manになりました。そして、皆さんの中にもそういう方がいるかと思

います。しかし、クラーク博士が言う通り、我々もこれからも大志を抱き続けましょう。お互いを高めあう素晴らしいインターシティミーティングになることを願います。

● 次期ガバナー補佐挨拶 ●

次期ガバナー補佐 阿部裕之君



自分は日本平RCあつての自分。皆さんも自分のクラブを大切にしてください。ロータリーという世界的な組織で、皆さんも何かできるといいと思います。

● 米山記念奨学生(静岡県立大学)・活動報告 ●

米山記念奨学会

李 江華さん (世話クラブ：駿河RC)



中国湖北省荊州出身。私自身が日本を勉強することと、自分も母国の文化を紹介することを大切にしています。「外国人としての私」「静岡人である私」「地球市民である私」という3つの面の私について、それぞれの活動と思いに関して説明がありました。

● 基 調 講 演 ●

講師 2009-2011年度RI研修リーダー第2770地区パストガバナー

中村靖治さん (吉川RC 埼玉)

演題 「変わりゆくロータリー 変わらないロータリー」



1905年シカゴにてロータリークラブが始まった時からの歴史とロータリーでの出来事、基本的な考え方、そして、

現在ロータリーで重視していることなどについてお話をいただきました。シカゴでの3回目の会合で、創立者のポール・ハリスではなく、シルベスター・シール氏が初代会長に決まりますが、この時の考えてである「依頼されたら快く引き受ける」という伝統が、今日に引き継がれています。1907年には、ロータリーに初めて社会奉仕の視点が増えました。クラブの内面である「卓話・ロータリーソング・女性会員勧誘の提案」が始まった時の話、また、「公衆トイレ設置運動・基本理念について・ガイ・ガントィガーの『ロータリーの存在理由』」につ

いてなどの経緯、そして、現在の中核的価値観 (Core Values)・ロータリーの行動規範 (Rotarian Code of Conduct)・DEI (Diversity多様性・Equity公正さ・Inclusion包摂性) へと引き継がれてきたお話をいただきました。最後に、「志と誇り」をもって邁進してほしい。『「クラブがどういう人を育てたか。」これによってクラブの価値が決まる。ロータリーは人づくりだと思う。』『「出会いに感謝。」で話を結ばれました。

● 閉 会 の 点 鐘 ●

ガバナー補佐 杉浦英昭君

● 懇 親 会 ●

開会の言葉 ガバナー補佐事務局 大石雄策君
乾杯 静岡日本平RC次期会長 池上直子君
アトラクション Mimi

佐藤美奈子さん・稗田未央さん

ロータリーソング 手に手をつないで
ソングリーダー 花村隆夫君

閉会の言葉

ガバナー補佐事務局長 佐藤 昇君



